

令和3年7月19日

越谷保育専門学校
校長 山崎美美夫

令和3年度学校関係者評価委員会報告書の公表について

学校関係者評価委員会による本校の「令和3年度学校関係者評価委員会報告書」を公表します。

なお、本校の学校関係者評価で使用した自己評価報告書の様式は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構が作成した文部科学省ガイドライン準拠版Ver4.0を使用しました。

令和3年7月19日

越谷保育専門学校
校長 山崎芙美夫 様

越谷保育専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 曾野 麻紀

令和3年度第1回学校関係者評価委員会報告

令和3年度第1回学校関係者評価委員会において実施した「令和2年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価委員会委員名簿

委員長：曾野麻紀委員

池田 祥子	社会福祉法人杉の子保育会 評議員
石田 高幸	学校法人石田学園理事長 社会福祉法人わせだ会わせだっこ中央保育園長
植竹 清文	学校法人植竹学園 理事長
岡 美那子	社会福祉法人 まあれ愛恵会 さいたまたいよう保育園長
加藤 友作	埼玉県立越谷東高等学校長
曾野 麻紀	十文字学園女子大学 人間生活学部幼児教育学科 准教授
中島新太郎	元埼玉県吉川市立北谷小学校長、元吉川中央公民館長

(五十音順)

2 学校側事務局

山崎芙美夫	学校法人ワタナベ学園理事長兼越谷保育専門学校長
美入 昌男	越谷保育専門学校副校長兼学科長
古塩 秀明	同 事務長
会田 秀樹	同 教務部学科主任
東海林 孝	同 教務部学科主任
渋谷るり子	同 教務部学科主任
小林 恵二	同 事務部参事
佐々木舞子	同 専任教員

3 委員会開催状況

- (1) 日 時 令和3年7月1日(木) 午前9時15分～午前11時15分
- (2) 会 場 越谷保育専門学校 201 教室
- (3) 参加委員 上記委員 7名、学校側事務局 8名

4 委員会次第

開会

- (1) 校長挨拶
- (2) 授業見学
- (3) 議長選出
- (4) 協議

ア 学校概要の説明

イ 学校関係者評価委員会の進め方の説明

ウ 「令和2年度自己評価報告書」に対する評価の実施

エ 学校関係者評価委員の総評と意見交換

オ その他

- (5) その他

ア 次回の開催予定

イ その他

閉会

5 学校関係者評価結果

別紙のとおり

令和3年度越谷保育専門学校 第1回学校関係者評価報告書

令和3年7月19日

1 学校概要の説明

本校は幼稚園教諭2種免許状、保育士資格が取得できる教員養成機関であると同時に、指定保育士養成施設であります。現在は幼稚園教諭保育士養成学科100名定員の1学科となっています。

今年度の第53回入学式は、新入生73名が入学しました。

2 授業見学

科目	(教室)	(授業担当者)
音楽IC弾き語り演習	(4階401教室2A)	渋谷・羽金先生
保育・教育課程論	(3階302教室2B)	大友みどり先生
図画工作IA	(2階図画工作室1B1-18)	平田智久先生
保育内容言葉	(2階203教室1A)	山崎英二先生
音楽IC弾き語り演習	(2階205教室2A)	横関先生
	(2階206教室2A)	永島先生

3 学校関係者評価の進め方の説明

校長挨拶の中で「自己評価報告書」1、学校の理念、2、本年度の重点目標と達成計画の報告説明が行われたので、3、評価項目別取り組み状況から協議することとなった。基準1、2及び新型コロナウイルス感染防止対応の学生アンケートによる報告が校長から説明が行われた。

さらに、基準3,4,5については会田学科主任から主に説明が行われた。

5-17中途退学への対応については、副校長より説明が行われた。

基準7「学生の募集と受入れ」に関しては、東海林学科主任より説明された。

4 「令和2年度自己評価報告書」に対する評価の実施

- | | |
|-----------------------|-----------|
| (1) 1 学校の理念、教育目標 | ・特に指摘事項なし |
| (2) 2 本年度の重点目標と達成計画 | ・特に指摘事項なし |
| (3) 基準1 教育理念・目的・育成人材像 | ・特に指摘事項なし |
| (4) 基準2 学校運営 | ・特に指摘事項なし |
| (5) 基準3 教育活動 | ・特に指摘事項なし |
| (6) 基準4 学修成果 | ・特に指摘事項なし |
| (7) 基準5 学生支援 | ・特に指摘事項なし |

5-17 中途退学への対応

(委員) 中途退学者対策について、学校側が丁寧に取り組んでいる。様々な事情があって、一人ひとりの対応にあたっていると感じた。

5-18 学生相談

(委員) 学生相談について40%の学生しか知らなかったという点について。
このようなコロナ禍の状況で、心の不安を生じる学生は増えてきているように感じている。学生に寄り添って、進んで対応出来ればと思う。

(8) 基準6 教育環境 ・特に指摘事項なし

(9) 基準7 学生の募集と受け入れ

7-25 学生募集活動

(委員) 委託生を受け入れるメリット、また今回定員を減らして委託生を入れなかった点についての質問。

(学校) 当初は80名を超える学生の入学見込みがあったため。

(委員) 長期的に考えて、子どもは減少していく。また、人生の途中で保育の仕事に就きたいという需要もあるため、高卒の学生だけではなく、既卒者を受け入れるメリットはあると思う。一回社会へ出て、保育をしたいという学生は意識が高い。就職園で即戦力にもなっている。

(学校) 委託生の制度は求職者を対象にした国の制度であり、入学の受け入れ制度がそもそも異なる。また、本校では委託生以外で既卒の学生も在籍しており、今年度入学した1年生も同様である。

(委員) オープンキャンパスを行っている学校も県内にある。高校サイドとしては、出来れば開催している方が学生にとっては進路を選ぶ上で参考になる。今後の状況次第で、検討して欲しい。

(学校) 新型コロナウイルス感染対策として、本校は前年度と同様、個別相談という形で実施している。

(10) 基準8 財務 ・特に指摘事項なし

(11) 基準9 法令等の遵守 ・特に指摘事項なし

(12) 基準10 社会貢献・地域貢献 ・特に指摘事項なし